

- 問1 関東地方の各県の交通と位置関係について述べた文として正しいものはどれですか。東京都の北側に埼玉県があり、その埼玉県からさらに北西へ進み、長野県へと抜けるルート上に位置する県を選びなさい。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 群馬県 2. 栃木県 3. 山梨県 4. 千葉県
- 問2 関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 施設園芸 2. 促成栽培 3. 近郊農業 4. 抑制栽培
- 問3 日本の諸地域のうち、関東地方の北西部に位置する群馬県の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 県庁所在地である富岡市は、世界文化遺産に登録された製糸場を中心に観光業が盛んである。 2. 県庁所在地である高崎市は、官営模範工場の設置をきっかけに工業都市として発展した。 3. 県庁所在地である伊勢崎市は、織物業の伝統を背景に現在の県政の中枢となっている。 4. 県庁所在地である前橋市は、古くから生糸の集散地や製糸業の中心地として栄えた。
- 問4 関東地方の北東部に位置し、茨城県の行政の中心として県庁が置かれている都市を次の中から選びなさい。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 千葉市 2. 前橋市 3. 水戸市 4. 宇都宮市
- 問5 東京湾の東岸に位置する京葉工業地域の工業出荷額の内訳について、他の工業地帯や工業地域と比較した際の特徴として正しい説明を次の中から選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 自動車を中心とした輸送用機械の割合が全国で最も高い。 2. 出版・印刷業の割合が非常に高く、都市型の工業が中心となっている。 3. 石油化学工業を含む化学工業の占める割合が非常に高い。 4. 製糸業や紡績業から発展したため、繊維工業の割合が高い。
- 問6 日本の地域別農業産出額の内訳を示した統計において、米や畜産を抑えて野菜の割合が全体の約40%と最も高くなっている地域があります。この地域が、東京などの大消費地に近い利点を活かして、新鮮さが求められる野菜などを生産し出荷する農業の形態を何と呼びますか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 関東地方で行われている近郊農業 2. 東北地方で行われている稲作中心の農業 3. 北海道で行われている大規模な畑作 4. 九州地方で行われている畜産主体の農業
- 問7 日本の河川と関東地方の冬の気候について述べた文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。 2. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。 3. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。 4. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
- 問8 日本の貿易統計において、成田国際空港の貿易額（2021年）に関する説明として、数値の背景を含めて正しく述べているものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 総輸出額が12兆円を超え、総輸入額が16兆円を超えるなど、日本屈指の貿易額を誇っている 2. 輸出額と輸入額の差である貿易収支を計算すると、3.5兆円以上の大幅な輸出超過となっている 3. 輸入総額が輸出総額を下回っており、主に安価な原材料を大量に輸入する拠点となっている 4. 輸出と輸入の合計額が1兆円に満たないため、地方の主要港に比べて経済的影響力は限定的である
- 問9 日本の都道府県別の人口統計において、東京都や大阪府のように「昼間人口比率が100%を大きく上回る地域」と、その周辺に位置する「昼間人口比率が100%を下回る地域」の関係を述べたものとして、正しいものはどれか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 周辺地域の利便性が高まったことで、昼間も夜間も中心都市の人口が減り続けている 2. 中心都市に都市機能が集中し、周辺地域がベッドタウンとしての役割を担っている 3. 周辺地域の労働力不足を補うために、中心都市から労働者が大量に流出している 4. 中心都市の地価が安いため、周辺地域から夜間にのみ居住者が移動している
- 問10 日本の河川について述べた次の文のうち、利根川の特徴を正しく説明しているものはどれですか。統計上の数値に基づき、適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本で最も長い河川であり、その長さは約367キロメートルに及び、長野県から新潟県へと流れている。 2. 北海道で最も流域面積が広く、石狩平野を流れて日本海に注ぐ日本で2番目に流域面積が広い河川である。 3. 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。 4. 東北地方で最も長い河川であり、岩手県から宮城県へと流れ、太平洋に注いでいる。
- 問11 ある地域の地形図を確認したところ、中央を流れる河川の橋を起点に、南東側には複雑な路地を持つ古い市街地が広がり、一方で河川を渡った北西側には、学校の記号や屈曲した道の先に公共施設が点在していました。このような地形図から調査経路を特定する際、最も重視すべき読図の方法はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 橋、学校、道路の形状などの地点情報を組み合わせ、周辺の建物密度から土地利用の変化を読み取る 2. 縮尺を利用して地点間の直線距離を測り、最短ルートを機械的に導き出す 3. 等高線の間隔から土地の傾斜を計算し、最も標高が高い地点を調査の起点として設定する 4. 地図上に示された植生記号のみを頼りに、森林や田畑の境界線を調査経路とする
- 問12 東京都渋谷区の統計によると、夜間にその区域に住んでいる居住人口は約22.4万人ですが、昼間の時間帯には周辺地域からの通勤・通学者が流入し、人口が約53.9万人にまで増加します。このような都市中心部で見られる人口の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。 2. 都心での生活コストが高いため、昼間人口よりも夜間人口のほうが多い状態になっている。 3. 交通網の発達により、昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。 4. 郊外へのオフィス移転が進んだ結果、通勤・通学者が減少し、昼間人口が減少傾向にある。
- 問13 成田国際空港などの拠点で行われる「航空貿易」において、半導体などの電子部品や医薬品が主要な取引品目となっている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 航空機は船舶に比べて一度に大量の物資を運べるため、輸送コストを最小限に抑えられるから 2. 製品の形が複雑であり、船舶のコンテナに積み込むことが技術的に困難だから 3. 国内の港湾施設が老朽化しており、精密機械を安全に積み下ろしすることができないから 4. 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから

答え合わせ・解説

問1	答え 1 群馬県	関東地方の白地図において、東京都から北へ向かうと埼玉県に到達します。そこからさらに北西、つまり日本海側や信越地方へ向かう方向に位置するのが群馬県です。このルートは北陸新幹線の経路とも一致しており、埼玉県と長野県の間に挟まれるような地理的關係にあります。
問2	答え 3 近郊農業	茨城県は広大な関東平野に位置し、高速道路網などを通じて大消費地である東京へ短時間で農産物を運ぶことができます。このように消費地のすぐ近くで新鮮な農作物を生産し供給する形態を近郊農業と呼びます。野菜は鮮度が重要視されるため、この立地条件は大きな強みとなります。
問3	答え 4 県庁所在地である前橋市は、古くから生糸の集散地や製糸業の中心地として栄えた。	群馬県は古くから養蚕や製糸業などの絹産業が盛んな地域でした。その中心都市である前橋市は、現在も県庁所在地として行政・経済の拠点となっています。高崎市は交通の要所、富岡市は富岡製糸場の所在地ですが、いずれも県庁所在地ではありません。
問4	答え 3 水戸市	茨城県の県庁所在地は水戸市です。関東地方の北部に位置する3県（茨城県・栃木県・群馬県）は、いずれも県名と県庁所在地の名称が異なっているため、正確に区別する必要があります。前橋市は群馬県、宇都宮市は栃木県、千葉市は千葉県の県庁所在地です。
問5	答え 3 石油化学工業を含む化学工業の占める割合が非常に高い。	京葉工業地域は、戦後の高度経済成長期に東京湾を埋め立てて造成された工業地域です。大規模な石油精製所や化学工場が集中しており、出荷額に占める化学工業の割合が他の地域に比べて突出して高いという構造を持っています。これに対し、中京工業地帯は機械工業、京浜工業地帯は機械や印刷などの多様な工業がバランスよく発展しているという違いがあります。
問6	答え 1 関東地方で行われている近郊農業	関東地方は、東京や横浜などの人口が密集する大消費地を抱えています。野菜は鮮度が重要であり、輸送距離を短くできる都市近郊での栽培が有利に働きます。このため、関東地方の農業産出額では野菜の占める割合が非常に高く、約4割に達するという特徴があります。
問7	答え 2 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。	日本で流域面積が最も広い河川は利根川です。また、日本の冬には大陸側から北西の季節風が吹くため、山脈を越えた関東地方では乾燥した晴天の日が多くなります。なお、信濃川は日本で最も長さが長い河川です。
問8	答え 1 総輸出額が12兆円を超え、総輸入額が16兆円を超えるなど、日本屈指の貿易額を誇っている	2021年の成田国際空港の総輸出額は約12.8兆円、総輸入額は約16.1兆円に達しており、港湾を含めた日本の貿易拠点の中でも極めて大きな規模を持っています。なお、この数値からは約3.3兆円の輸入超過であることが分かりますが、設問にある「3.5兆円以上の輸出超過」という説明は誤りです。
問9	答え 2 中心都市に都市機能が集中し、周辺地域がベッドタウンとしての役割を担っている	昼間人口比率が100%を下回る周辺地域は、昼間に多くの住民が中心都市へ通勤・通学に向かうため、人口が流出している状態にある。これらの地域は、居住を主な目的とする「ベッドタウン」としての性格が強く、その一方で中心都市は、高度な経済活動やサービスが集中する都市機能の中心を担っている。この地域間の役割分担により、昼夜の人口差が顕著に現れるのが日本の大都市圏の特徴である。
問10	答え 3 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問11	答え 1 橋、学校、道路の形状などの地点情報を組み合わせ、周辺の建物密度から土地利用の変化を読み取る	地形図を用いた地域調査では、橋（構造物）、学校（地図記号）、道路の屈曲（形状）といった「目印」となる情報を正確に特定することが不可欠です。また、建物の密集度や路地の形状から、そこが「古い歴史を持つ地区」なのか「新しく開発された地区」なのかといった土地利用の背景を読み取ることで、調査の目的（歴史的景観の確認など）に合致した正確な経路特定が可能になります。地形図は単なる距離の測定ではなく、情報の相関関係を捉えるために活用されます。
問12	答え 1 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。	渋谷区のような都心部や副都心では、商業施設やオフィスビルが多いため、昼間に活動する人が非常に多くなります。具体例として挙げられたデータでも、昼間人口が夜間人口の2倍以上になっており、これは多くの人が「住む場所」と「働く・学ぶ場所」を使い分けている都市構造を反映しています。
問13	答え 4 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、運賃を負担しても利益が出る「高付加価値製品（軽量で高価なもの）」が適しています。また、半導体のような技術革新が速い製品や、人命に関わる医薬品などは、輸送期間を短縮することに大きなメリットがあるため、航空貿易が積極的に利用されます。